[illegible]

勞働組合會議準備委員會中央委員會

日本勞働クラブ

昭和七年七月九日

片山 哲

社會民衆黨合同委員長

同 河上丈太郎

全國勞農大衆黨合同委員長

無産政黨合同協議會

[illegible]

財團法人協調會大阪支所

日本労働組合會議結成第参回準備委員會（日本労働倶楽部詮衡委員會）

右は昭和七年七月二十六日午後二時半より東京芝浦、日本海員組合東京支部楼上に於て左記委員及傍聴者（括弧内）出席の上開催された。

×日本労働総同盟 松岡駒吉（齋藤健一）（金光 平）
×官業労働総同盟 渡邊善寿（川村保太郎）
×全國労働組合同盟 茅野眞好
×日本労働組合總聯合 森 栄一（高山久藏）
×海員協會 鈴木倉吉（元 廣 昇）（尾崎藤太郎）
×日本労働總聯盟 内田文祢
×日本港湾從業員組合聯盟 山川宗祢
×日本造船労働聯盟 永野文章（大久保秀治）
×日本海員組合 浜田國太郎 米窪満亮（地主俊夫）（飯島林次郎）

濱田代表委員出席遅刻せる故を以て、米窪委員開會を宣し、第一回及第二回の詮衡委員會に於ける審議経過を報告し、本委員會議長に松岡駒吉氏を推薦し満場異議なくこれに賛同す。

松岡委員議長席につき本日の審議内容が組合會議加盟員、評議員、代議員選出比率、會議事務所在地の決定にある事を宣し、直ちに規約草案第十八條加盟員の審議に入る。

この問題は一面組合會議の活動及事務の範囲を如何に限定するかにつき考慮するものなると同時に、他面に於ては加盟團体現時の財政的余裕を考慮する事となるを以て各委員は極めて愼重なる審議を続行したるが、審議中規約草案第三條第二項規定の構成範囲の最低員数『一千名』を『二千名』乃至『三千名』に修正すべしとの意見、